

事業名

# さくらプロジェクト

目標

地域と学校の取組みを支援し、地域再生のシンボルを創造する

## 1. 取組の視点

柳生地区ではこれまでも地域住民の交流を深めるために、体育大会やマラソン大会、文化祭等が開催されてきた。また、小・中学校の児童・生徒に消防団や保育園、万年青年クラブや地域にある社会福祉施設をもまじえた大運動会が小学校・中学校を幹事として実施されている。さらには数年前より地域の祭りとして「柳生さくら祭り」が催されている。しかしながら、次世代に向けた活力を象徴するものが欠落している。本事業では現在の取組みを支援すると同時に、地域再生のシンボルとして、かつての交歓の場であった摩利支天山を再生し、桜の景観復活を目指した。



## 2. 取組の概要

柳生中学校の南に位置する摩利支天山は、校地の一部であり、かつては桜の名所であった。



雑木の茂るままに長年放置されてきたこの山を復活させるために、以下の取組みを行った。

- ① 柳生中学校の環境整備活動の一貫として、生徒・教職員・保護者が頂上付近を伐採。
- ② 伐採の専門家を含む地域ボランティアが急峻な斜面を伐採。



今後は、山桜の苗を入手し、苗木の植樹にふさわしい時期を選んで、関係者全員の手によって植樹する予定。

## 3. 成果と課題

本事業の成果として、地域の数多くの方から、「摩利支天山がきれいになって嬉しい」という声をいただく事ができた。山の頂上を訪れる観光客の姿が増え、生徒や職員が登って柳生の美しさを再発見するようになった。地域の方々の心の拠り所としての摩利支天山再生の第一歩が踏み出せたと考える。

しかしながら、桜を主体とした景観の再生には、根気強い手入れが必要である。また、急峻な地形での本事業推進には、予算面の保障とともに、地域の専門家の共感と厚い支援が不可欠である。本事業を学校と地域のコミュニケーションツールとして活用し、摩利支天山を地域再生のシンボルとするには、関係者全員の息の長い長期的展望に立った取組が求められる。



事業名

## さわらびプロジェクト

目標

生徒数の減少に伴い、ややもすれば様々な面で縮小しがちな生徒の学習・活動を活性化する

### 1. 取組の視点

生徒数が年々減少する中で、保護者負担の増大につながる校区外活動や小規模校の特性を生かした学年を越えた取組の実施が困難な状況になってきた。

そこで、豊かな学習体験を保障することで、情意面での成長を図ると共に学習を通して企画力や発表力を高めることを目指し、これまで取り組んできた福祉施設での体験学習を充実させるとともに、外部指導者による本物に触れる体験学習に取り組む事で、教育活動の活性化を図った。

### 2. 取組の概要

#### ○福祉体験学習

全校生徒が市内の3事業所に分かれて訪問し、職業体験を行うとともに歌や楽器演奏などで高齢者と交流した。



#### ○和楽器体験学習

外部指導者の生の演奏に触れることができ、全校生徒が専門的な指導を受けることができた。限られた時間のなかで合奏まで行い、生徒にとっては大きい達成感の得られた学習となった。

(生徒感想より)

- ・難しかったけれど、最後にみんなで良い演奏ができて良かった。
- ・とても良い経験になった。

- ・最初の模範演奏は、迫力があってすごかった。心にまで振動が伝わってきて驚いた。



#### ○図書収納棚の製作

語彙力・発表力を高める指導とあわせて図書の充実を図ってきた。課題となっていた蔵書の整理を行うために収納棚を制作した。



### 3. 成果と課題

福祉体験の事前学習や発表会に向けた取組では、上級生のリーダーシップのもとに学年をこえた学びの機会をもつことができ、プレゼンテーション力も向上した。学校評価でも、生徒は積極的に活動できた(82%)、進んで発言するようになった(66%)と肯定的に捉え、発言への積極性については昨年の2倍になっている。

また、朝読書や全校朝礼でのスピーチ等で、語彙を増やし、発表力を高める学習を補完する図書室の整備と活用を図ることができた。

校区が奈良市東部に位置し、かつ生徒数が過少であるため、多様な教育活動を組むには制約が多い。来年度は生徒数がさらに減少するため、多様な教育活動の維持・保護者負担の軽減が引き続き課題となる。本物に触れる体験や福祉体験学習は是非とも継続していきたい。

事業名

## 「いきいき わくわく 元気な柳生っ子」プラン

目標

柳生のよさを知り、柳生に生まれ育ったことを誇りに思う  
子どもを育てる

## 1. 取組の視点

柳生小学校教育ビジョンに示している「柳生で学び・柳生を誇り・柳生を語る子どもを基礎とし、奈良で学んだことを誇らしげに語れる子ども」を育てるため、学校と地域の協働による関係づくりを推進する。そして、地域に根ざし、地域とともに特色ある学校づくりに取り組む中で、地域のゲストティーチャーを迎え、柳生の特色を生かした体験活動（梅干作り、柳生焼、布目ダム見学、炭焼き体験等）や行事（剣道大会）を実施する。

## 2. 取組の概要

## 【剣道大会】

地域の柳生剣友会、柳生中学校、保護者の全面的な協力のもと、柳生小学校の特色ある行事である剣道大会を、今年も2月の最も厳しい寒さの時期に行った。剣道に取り組むことで、子どもたちの心・技・体を鍛え、特に、規範意識や礼儀を重んじる心の教育を推進することができた。



## 【炭焼き体験】

柳生の里山の自然を保全するため、地域で炭焼きをされている方をゲストティーチャーに招き、炭の学習を行った。その後、炭焼き窯において炭焼き体験をさせていただいた。この学習を通して、柳生の方々が子どもたちに将来の柳

生を託しておられることを強く感じる事ができた。



## 【煎茶体験】

お茶の産地である柳生にある学校として、煎茶道の講師として地域の方をゲストティーチャーに迎え、家庭科の時間に煎茶体験を行った。この学習で「和の心」を教えていただくとともに礼儀についても学ぶことができた。



## 3. 成果と課題

地域で決める学校予算の事業が始まったことによって、柳生小学校の特色ある体験学習を充実・発展させることができた。このことによって、子どもたちが柳生で学んでいることや柳生に生まれ育ってきたことを誇りに感じることに成果を上げることができた。